

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	中学校管理費
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長調整 ④(増減額)	市長査定 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	34,910	33,930		33,929			33,929	▲ 981
財源内訳	国	1,173	1,258	1,258			1,258	85
	県							0
	市債							0
	その他	502	539	539			539	37
	一般財源	33,235	32,133	32,132			32,132	▲ 1,103

事業概要	電気・空調設備保安業務、浄化槽維持管理、消防設備保守点検など、中学校施設の維持管理を行うための経費や、各校に1名配置している学校主事の人件費などを予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	施設の適切な維持管理を行うことで、生徒に快適な教育環境を提供する。		
現状と背景	中学校は市内に3校(第一、第二、第三)ある。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	中学校備品整備事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長調整 ④(増減額)	市長査定 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	1,600	1,630		1,630			1,630	30
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	1,600	1,630		1,630			1,630

事業概要	パソコン等教育活動に必要な備品を購入し、生徒への適切な学習指導を行っている。施設備品の購入費を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	老朽化した備品の取替えや新たに必要となった教育備品を購入することで、生徒により良い学習環境の場を提供する。		
現状と背景	既存教育備品の老朽化が著しいため、学校現場からは買い換えをなどを要望する声大きい。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	中学校施設整備事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長調整 ④(増減額)	市長査定 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	8,000	8,000		8,000	▲ 350		7,650	▲ 350
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	8,000	8,000		8,000	▲ 350		7,650

事業概要	学校施設の整備のため、工事費、修繕料を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	学校施設は、子どもたちが一日の大半を過ごす学習・生活の場であることから、危険箇所等の工事、修繕を早急に行い、快適で十分な安全性、衛生的な環境を確保する。		
現状と背景	施設の老朽化が目立ち、生徒にとって危険な箇所も年々増加している。また、漏水等の維持管理面についての諸問題も増加している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	中学校33人学級実施事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長調整 ④(増減額)	市長査定 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	2,000	6,000		6,000			6,000	4,000
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	2,000	6,000		6,000			6,000

事業概要	少人数学級での授業を実施するため、鳥取県に対して協力金として、加配教員の人件費相当1/2を支払い、新1年生を対象とした33人学級制度を実施する。	今年度見直し事項	
事業目的	小学校から中学校へあがってきて不安を抱えている新1年生で33人学級を実施することにより、児童1人1人に教員の目が行き届き、きめ細かな対応が可能となり、学力の向上、不登校の抑止を行う。		
現状と背景	平成20年度から第一中学校で取組んでいる。環境の変化により、一番不登校になりやすい1年生の生徒1人1人にきめ細やかな対応が可能となり、昨年に比べて生徒1人1人の落ち着きが増した。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	中学校指導補助員配置事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長調整 ④(増減額)	市長査定 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	3,098	3,098		3,098			3,098	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	3,098	3,098		3,098			3,098

事業概要	学力問題や心の問題をはじめ、LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)生徒等、特別な支援が必要な子どもたちに対して、各学校に1名の指導補助員を配置する。指導補助員の人件費を予算化している	今年度見直し事項	
事業目的	指導補助員を配置することで、特別な支援が必要な子どもたちへの個別的な学習支援、補助が可能となる。		
現状と背景	各校に1名ずつ補助員を配置している。子どもを取り巻く環境が悪化しているためなのか、特別な支援が必要な子ども達の数は年々増加している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	第二中学校改築事業(基本設計)
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長調整 ④(増減額)	市長査定 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	0	34,774		14,774		▲ 4,964	9,810	9,810
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	34,774		14,774		▲ 4,964	9,810

事業概要	老朽化の著しい第二中学校(昭和32~36年建設)校舎の改築及び冷暖房改修事業を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	学校施設は児童が一日の大半を過ごす学習・生活の場であることから、校舎の改築を実施することにより、快適で十分な安全性、衛生的な環境を実現する。		
現状と背景	昭和32年から36年にかけて建設された市内で最も古い学校であり、平成19年に実施した耐震診断でも耐震化の緊急度が一番高いと判定されている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	第一中学校プール改修事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長調整 ④(増減額)	市長査定 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	0	2,672		0			0	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	2,672		0			0

事業概要	経年劣化による、色落ちしたプール内部の塗装及び床壁面のクラック補修を実施する。	今年度見直し事項	
事業目的	経年劣化の著しいプールを改修することにより、生徒の安全性を確保する。		
現状と背景	塗装の色落ちにより生徒が壁面に衝突する危険性が高くなってきている。また、プール床壁面の劣化が激しく、クラックによる怪我の恐れがある。(昭和57年度完成)	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	第一中学校施設整備事業(実施設計)
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長調整 ④(増減額)	市長査定 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	0	21,738		21,771			21,771	21,771
財源内訳	国	0	4,733	4,582			4,582	4,582
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	17,005		17,189			17,189

事業概要	第一中学校の耐震補強・大規模改造工事及び冷暖房改修工事の設計委託料を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	学校施設の耐震化により児童生徒の安全を確保するとともに、老朽化した施設の改造及び冷暖房改修を行い教育環境の整備を図る。		
現状と背景	平成19年度に実施した耐震診断の結果を踏まえ、平成21年度から5ヶ年を目途に学校施設の耐震化と改造(二中は改築を予定)を行い、併せて中学校に冷暖房を設置する。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	中学校グラウンド芝生化事業
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長調整 ④(増減額)	市長査定 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	0	7,878		6,341	216		6,557	6,557
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	0	4,930	4,023	▲ 12		4,011	4,011
	一般財源	0	2,948	2,318	228		2,546	2,546

事業概要	生徒の運動促進や怪我の防止、砂埃の防止や地表温度の低下など誠道小学校の先行実施で実証された様々なプラス効果のある校庭の芝生化を平成22年度に第一中学校を対象に実施する。維持管理については、市民との協働事業としてPTAをはじめ地域の方々に協力を願う。	今年度見直し事項	
事業目的	生徒の体力増強や怪我の防止、またエコ対策として効果のある校庭の芝生化を、まちづくりの基本理念である「協働のまちづくり」の実践事業として、また永続的事业として実施する。		
現状と背景	平成20年度にモデル校として誠道小学校校庭の約1/3を芝生化し、児童の運動促進や怪我の防止、砂埃の防止や地表温度の低下など様々なプラス効果が実証された。他校への拡大とともに、地域の財産として、官民での協働事業で維持管理が行える体制の構築を図る。	その他	